

令和8年度 大学奨学生小論文課題

【課題図書】

書籍名 : 太陽の脅威と人類の未来

著者 : 柴田一成

出版社 : (株)KODOKAWA(角川新書)

この本は、太陽が人類にどんな影響を与えるかを、やさしい語り口で教えてくれる一冊です。

著者の柴田一成さんは、太陽の爆発や磁場の変化などを研究してきた太陽研究の第一人者。

難しそうなテーマですが、専門的なテーマを扱いながらも、語り口はとても親しみやすく、科学に苦手意識がある人でも安心して読み進められるよう工夫されています。

みなさんには、この本を読んだうえで、「小論文」を書いてもらいます。

読書感想文は「どう感じたか」、書評は「本の良し悪しを評価する」、要約は「内容を短くまとめる」ものですが、小論文は「自分の意見を根拠とともに述べる」ものです。

評価では、①課題に向き合った姿勢、②自分で考え抜いた文章かどうか、③その考えに明確な根拠があるか、を重視します。

まずは本書を熟読してください。

そのうえで、あなたの思考力、表現力を文章に込めてください。あなたにしか書けない考えを、私たちは楽しみにしています。